

これからの学びを考えてみよう!!

～「GIGAスクール構想」が学校にもたらすものとは～

「GIGA※スクール構想」の実現とは大きく「クラウド活用」「高速大容量通信環境」「1人1台学習者用端末」の3つを整備することを指します。『子どもたちの学びはどのように変わり、その変化に向け、学校や教師はどんな準備が必要であるか。』を共に考える資料として、校内研修等で活用ください。

※GIGA = Global and Innovation Gateway for All

第1号

「1人1台端末・高速通信環境」がもたらす学びの変容とは

「1人1台端末」ではない環境

一斉学習

- ・教師が電子黒板等を用いて説明し子どもたちの興味関心意欲を高めることはできる

学びの
深化

「1人1台端末」の環境

- ・教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる
→子どもたち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に

個別学習

- ・全員が同時に同じ内容を学習する(一人一人の理解度等に応じた学びは困難)

学びの
転換

- ・各人が同時に別々の内容を学習できる
- ・各人の学習履歴が自動的に記録される
→一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能に

協働学習

- ・グループ発表ならば可能だが自分独自の意見は発信しにくい(積極的な子はいつも発表するが、控えめな子は「お客さん」に)

- ・一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる
- ・各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる
→全ての子どもが情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる

(文部科学省：「未来の学び」構築パッケージより抜粋)

1人に1台の端末が整備されることで、学びの深化・転換といった変容が図られ、多様な子どもたちの学びが個別最適化されることで、資質・能力がより一層育成しやすくなります。「1人1台端末」の環境での学びには、複数の端末を同時に使用したり、端末間での双方向の通信をしたりといった活用が含まれるため、端末だけでなく、高速大容量通信の環境整備が必要となります。今回のGIGAスクール構想では、この2つの整備が実現するように計画されています。

【参考となる情報】

「教育の情報化に関する手引」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html

文部科学省が作成した資料で、指導要領の記述に基づき、ICT活用や情報教育、校務の情報化などくわしく解説されています。



GIGAスクール構想の実現について

https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm

文部科学省が作成した資料で、GIGAスクール構想の実現に関する様々な資料が掲載されています。特に以下の①～③の資料はぜひ参考にしてみてください。



①文部科学大臣からのメッセージ

https://www.mext.go.jp/content/20191225-mxt_syoto01_000003278_03.pdf

文部科学大臣からのメッセージです。GIGAスクール構想に対する国の考え方が簡潔に示されています。



②「学校における1人1台端末環境」公式プロモーション動画

https://www.youtube.com/watch?v=K0wpx_vyRKM

文部科学省が作成した動画です。1人1台端末環境での学びにより、学校教育の姿がどう変わるのか。具体的なイメージを持つために活用ください。(約3分)



③「未来の学び」構築パッケージ

https://www.mext.go.jp/content/20200219-mxt_syot_o01-000003278_501.pdf

内閣官房 IT 総合戦略室・総務省・文部科学省・経済産業省が連名で作成した資料です。本「まなび通信」にも抜粋資料を掲載しています。

